

青森市 休日における部活動の在り方に関する方針

令和6年8月

青森市教育委員会

1 休日の部活動の地域移行について

(1) 国の方針

国の『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』では、休日の部活動の地域移行について、令和5年度から令和7年度を改革推進期間として位置付け、県及び市町村が推進計画等を策定し、段階的な地域連携・地域移行を進めることとし、国のガイドラインを踏まえつつ、地域の実情を踏まえて、様々な手法の中から選択したり、複数の手法を組み合わせたりするなど創意工夫を凝らし、生徒や保護者の理解を得ながら段階的に進めるよう示している。

(2) 県の方針

県の『公立中学校における休日の部活動の地域移行推進計画』では、休日の部活動の地域移行について、令和7年度までに、検討委員会を設置し、関係団体と連携し地域移行に向けた推進計画（方針等）を作成すること、学校とともに受け皿となる運営団体を検討し、可能な部活動から休日の部活動への地域移行に取り組むよう示している。

2 本市の部活動の現状

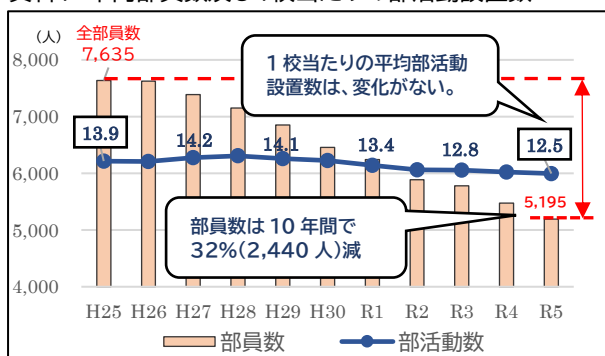
(1) 部活動の現状

資料1『市内部員数及び1校当たりの部活動数』から、本市の部活動数は、10年間で部員数が32%減少しているが、1校当たりの部活動設置数に大きな変更が見られていないことがわかる。

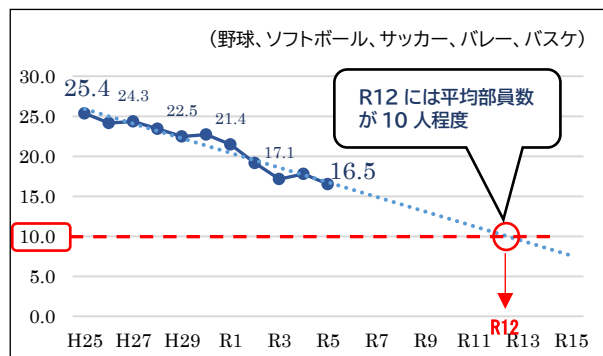
また、資料2『団体競技に係る部活動の平均部員数』から、各部の部員数は年々下降し昨年度の16.5人に対して、令和12年には10人程度となる見込みである。

これらを踏まえると、各学校単独で団体競技を維持することは困難となりつつあることがわかる。

資料1 市内部員数及び1校当たりの部活動設置数



資料2 団体競技に係る部活動の平均部員数



また、本市の部活動については、主に教職員、部活動指導員、外部指導者が指導に当たっており、運動部については、教職員以外の指導者の割合は50%以上となっている。

(2) 休日の地域移行に係る課題

休日の部活動の地域移行に当たっては、受け皿となる地域クラブの確保、指導者の確保、保護者の送迎等の負担、また、休日と平日の連携や部活動毎、学校毎の進め方に差異が生じることなどの課題が発生することとなる。

(3) 地域移行に係る取組

本市では、令和4年度～5年度において、校長、市PTA連合会、競技団体等による協議会を設置し、協議を重ねるとともに、生徒への調査や面談、部活動指導員の配置等を通して、現状把握及び休日の地域移行の取組を進めてきた。令和6年度は、国や県が示す改革推進期間の2年目であることから、「(2) 休日の地域移行に係る課題」を踏まえ、生徒や保護者の理解を得ながら段階的に進められるよう方針を示すこととした。

青森市 休日における部活動の在り方に関する方針

本市においては、すべての中学校において、休日の部活動の地域移行について検討し、令和7年度末までには部活動毎の課題と必要な対策を整理した上で、可能な部活動から段階的に保護者や地域が運営するクラブ活動等への地域移行を開始する。

また、当面の対応として合同部活動、部活動指導員や外部指導者を活用した活動等、地域連携の取組も可能とした上で、引き続き地域移行に向けた課題の解消方法について検討する。

1 教育委員会の取組

(1) 検討委員会の設置

教育委員会は、校長会、市PTA連合会、中体連、スポーツ協会、各競技団体等からなる検討委員会を設置し、国・県の動向や各団体及び各校の取組状況について情報共有を図るなどして各校の取組を支援する。

(2) 部活動指導員及び人材バンクを活用した指導者の配置

教育委員会は、地域移行に係る指導者の確保について、部活動指導員及び人材バンクを活用した指導者の配置等により支援する。

(3) 指導者のための研修会の設置

教育委員会は、地域移行に係る指導の充実に向けて、クラブの指導者を対象に、生徒の心身の健康管理、事故防止の徹底等に係る研修会を開催する。

(4) 教育委員会主催クラブの設置

教育委員会は、生徒が1人1台端末を活用しながら自分のペースで気軽に参加できる読書クラブ（例）等を設置する。

2 学校の取組

(1) 地域移行のための協議会の設置

学校は、休日の部活動の地域移行を推進するために、教職員、部活動指導員、外部指導者、保護者、民間のクラブ等の代表者等からなる、協議会を設置する。

(2) 地域移行に向けた各種支援

学校は、休日の部活動の地域移行に当たって、クラブへの学校施設の利用についての協力、生徒の人間関係のトラブルに関する支援、希望する教職員による指導への対応等について支援する。

3 スポーツ団体や文化芸術団体等の取組

スポーツ団体や文化芸術団体等は、国のガイドラインに基づき、指導者の育成及び資格取得や研修等の体制整備、トラブル等に係る相談窓口等の設置、多様なニーズに応じた環境の整備、指導者の確保の支援等の取組を進める。

【地域移行の在り方に関するイメージ図】



1 スポーツ・文化芸術活動を行う際に大切なことは何ですか（複数回答可）

	項目	全体 (38)	運動部 (27)	文化部 (11)
(1)	参加人数（クラブ数）がある程度いること	① 50.0%	② 48.1%	① 54.5%
(2)	自分のニーズに合っていること	② 47.4%	② 48.1%	② 45.5%
(3)	専門的な指導ができる指導者がいること	③ 44.7%	44.4%	② 45.5%
(4)	自分に合った活動時間であること	③ 44.7%	① 51.9%	27.3%
(5)	気軽に参加できること	39.5%	33.3%	① 54.5%
(6)	選手間のトラブルが少ないこと	23.7%	25.9%	18.2%
(7)	発表・展示、大会等の機会が多いこと	18.4%	14.8%	27.3%
(8)	指導者が先生であること	13.2%	14.8%	9.1%
(9)	活動場所が、自宅から近いこと	10.5%	11.1%	9.1%
(10)	会費が安いこと	5.3%	3.7%	9.1%

2 今後、休日の活動に望むもの（番号は上の表の項目と同様の番号）

(1) 人数について

- ・試合に出る人数が足りていてもギリギリのところは合同チームにしてほしい。

(2) ニーズへの対応について

- ・部活動、クラブ活動ともに利点はあるが、みんなが参加しやすい形は部活動だと思う。
- ・部活を続けていけるようにしてほしい。今まで通り一緒にやってきた仲間と練習がしたい。
- ・他校の選手と様々な練習ができるので、クラブ化や合同チームになっていけばいいと思う。
- ・合同練習などで様々な技術を学ぶ機会を増やしていきたいと思う。

(3) 指導者について

- ・地域の指導者からの指導で、プラスアルファ技術を身に付けていけるといいと思う。
- ・合同練習で他校の監督からアドバイスを得たり、試合形式の練習ができたりすると良いと思う。
- ・クラブに変わっても入りたいと思える、魅力的なクラブでないとい入る人数が劇的に少なくなると思う。練習方法も変わるし、活動時間も部活よりは少なくなると思うので、運動部は部活のほうがメリットは多いと思う。クラブは専門的なコーチがいると、入りたくなると思う。

(4) 自分に合った活動時間

- ・体育館の利用時間や日時など、練習時間が増えれば良いと思う。

(5) 気軽に参加できることについて

- ・地域のクラブや他校との交流も楽しそうなのでやってみたいと思う。

(7) 発表・展示、大会等について

- ・たくさんコンクールに出て、たくさん賞を取りたい。

(8) 指導者について

- ・今後指導者が変わらず学校の先生がいいなと思う。
- ・地域のクラブになっても、教えてくれる人がいれば安心して活動できていいと思う。

(9) 活動場所について

- ・周り（保護者、関係者）に迷惑がかからない程度の活動で合同練習に参加できるとうれしい。
- ・移動が難しいため、オンラインでアドバイスをもらったりしたい。